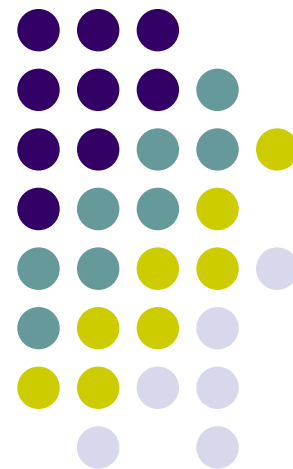


# 平成29年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所

JASDAQ(スタンダード):3953





# 目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

# 会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・  
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所 : 会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

# 事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、緩やかながらも回復基調が続いており、個人消費も雇用・所得環境の改善を背景に、底固く推移し、設備投資も増加基調にあります。しかしながら、米政権の政治的手腕や一部の新興国に弱さが見られ、先行き不透明な状況が続いております。
- 当業界におきましては、全国段ボール生産量は前期比101.5%となりました。
- 生産量につきましては、シート及びケース価格が軟調に推移した結果、段ボールシート64百万m<sup>2</sup>(前期比5.4%減)、段ボールケース38百万m<sup>2</sup>(前期比4.6%減)となりました。
- 売上高は4,969百万円(前期比4.8%減)となり、また、利益面におきましては経常利益400百万円(前期比33.4%増)となり、当期純利益247百万円(前期比43.0%増)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。



# 業績概要①

売上高:前期比4.8%減 経常利益:前期比33.4%増 当期純利益:前期比43.0%増

(単位:百万円)

	当期 (平成29年3月期)	前期 (平成28年3月期)	前期比率
売上高	4,969	5,220	-4.8%
営業利益	396	297	32.9%
経常利益	400	300	33.4%
当期純利益	247	173	43.0%
1株当たり当期純利益金額(円)	51.45	35.97	

# 業績概要②



総資産の主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものと売上債権が減少したことによるものです。(自己資本比率69.9%)

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成29年3月末)	前期末 (平成28年3月末)
流動資産	4,623,531	4,450,926
現金及び預金	3,130,122	2,898,093
受取手形	501,180	535,903
売掛金	676,874	726,046
たな卸資産	266,399	244,313
その他流動資産	48,954	46,568
固定資産	2,588,453	2,702,147
有形固定資産	2,238,379	2,356,160
無形固定資産	15,409	18,335
投資その他の資産	334,664	327,652
資産合計	7,211,985	7,153,073

(単位:千円)

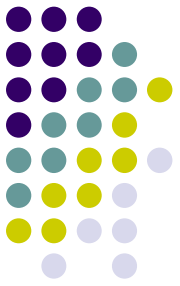
負債・純資産の部	当期末 (平成29年3月末)	前期末 (平成28年3月末)
流動負債	1,455,511	1,550,892
支払手形	877,066	980,738
買掛金	197,159	226,736
未払法人税等	103,080	88,907
その他の流動負債	278,205	254,508
固定負債	713,389	770,643
退職給付引当金	154,296	169,970
役員退職慰労引当金	401,405	391,271
その他	157,687	209,401
負債合計	2,168,901	2,321,535
純資産合計	5,043,083	4,831,538
負債・純資産合計	7,211,985	7,153,073



## 業績概要③

(単位:千円)

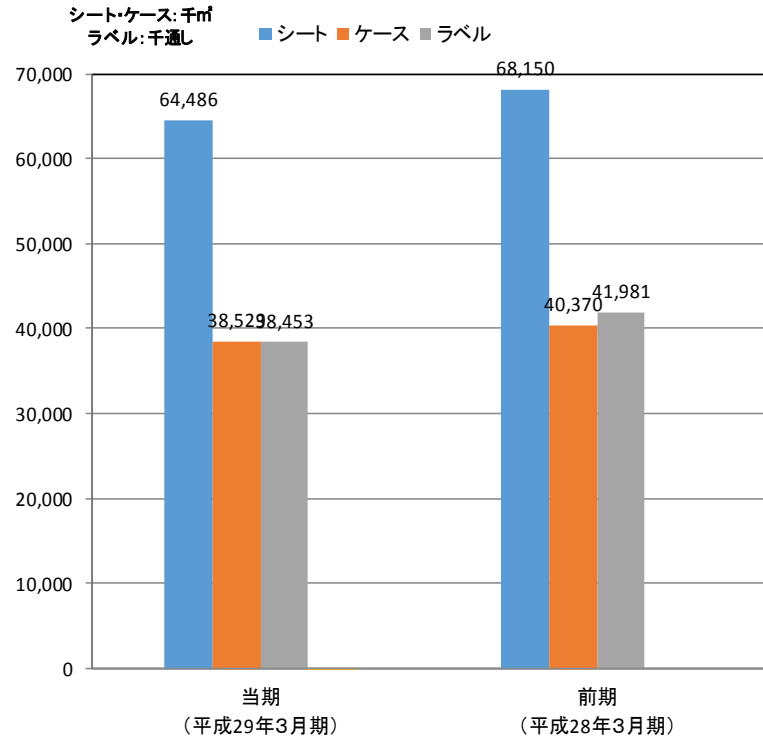
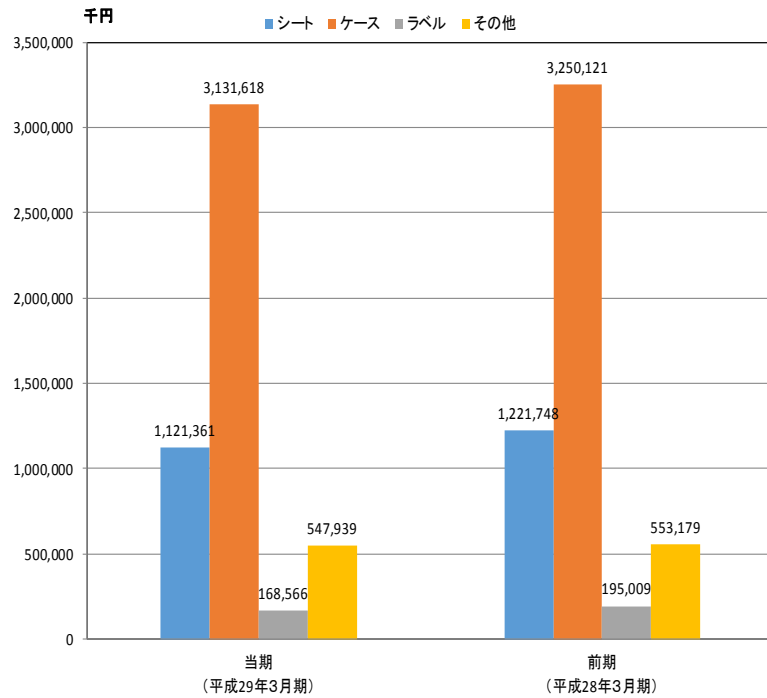
	当期 (平成29年3月期)	前期 (平成28年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	370,758	344,415
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 39,529	▲ 58,500
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 99,206	▲ 122,514
増減額(減少:▲)	232,022	163,400
現金及び現金同等物の 期首残高	2,868,846	2,705,445
現金及び現金同等物の 期末残高	3,100,868	2,868,846



# 品種別売上高及び生産実績

シート・ケース・ラベル・その他すべて  
売上減少となりました。

シート・ケース・ラベルすべて  
生産減少となりました。







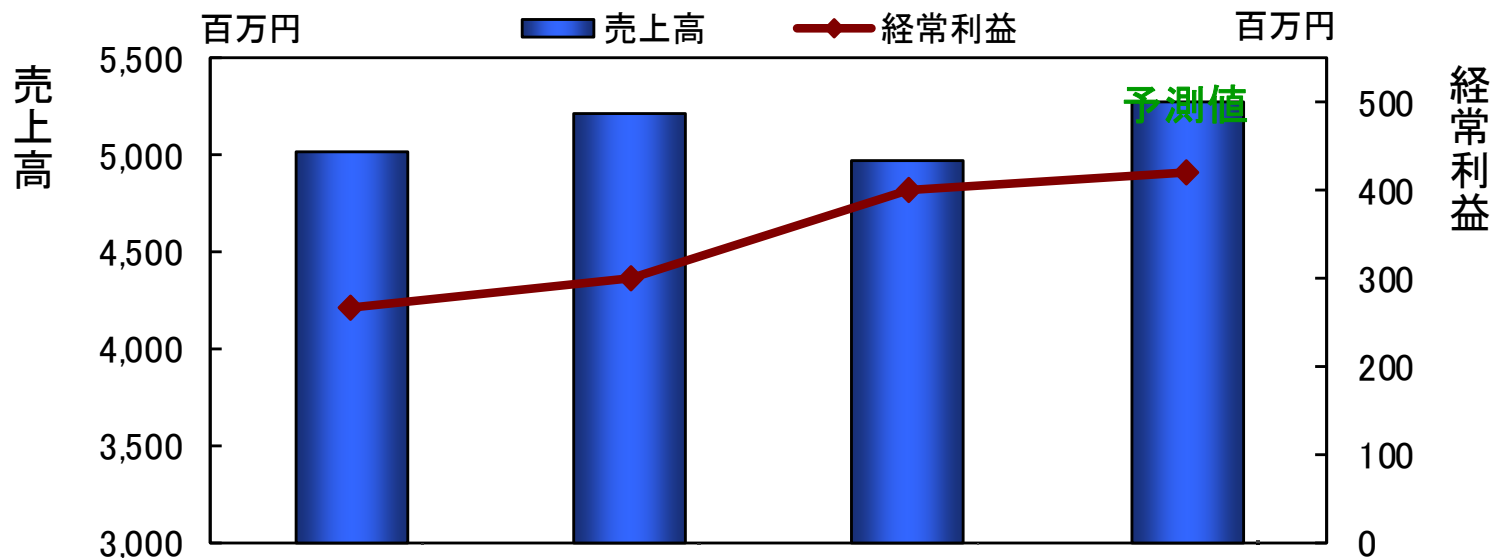
# 今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、政府による経済政策や日銀による金融緩和が引き続き行われると思われ、景気も穏やかな回復を続けるものと期待されています。しかし、米国経済の動向や英国のEU離脱問題の影響も懸念され不透明な状況で推移するものと思われれます。
- 当社の平成30年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,286百万円(前期比6.4%増)、営業利益422百万円(同6.7%増)、経常利益420百万円(同4.9%増)及び当期純利益260百万円(同5.4%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。

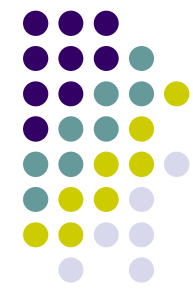


# 売上高および経常利益の見通し

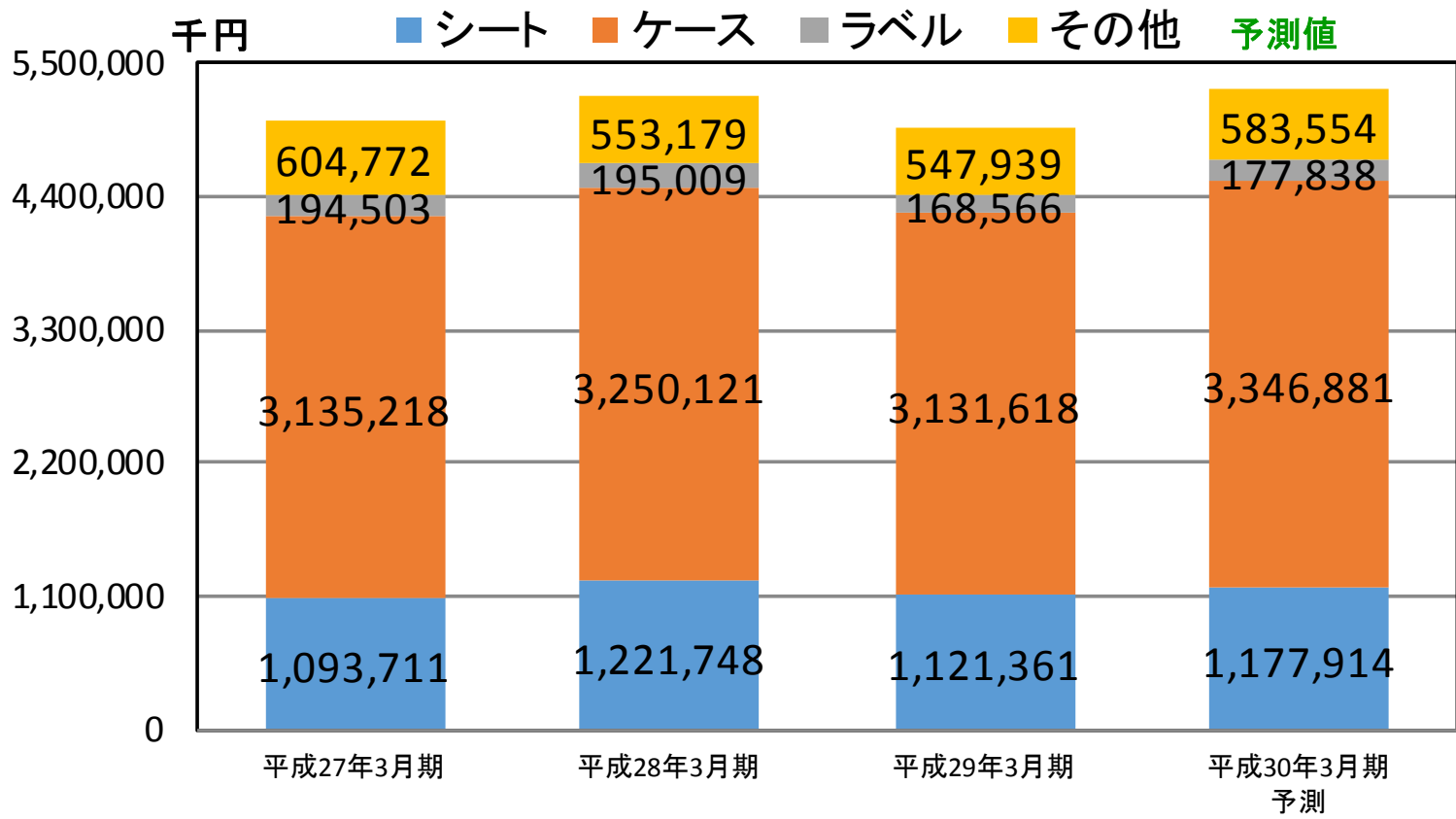
※売上高5,286百万円(前期比6.4%増)、営業利益422百万円(同6.7%増)、経常利益420百万円(同4.9%増)及び当期純利益260百万円(同5.4%増)を計画しております。



	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期 予測
売上高	5,028	5,220	4,969	5,286
経常利益	267	300	400	420



# 品種別売上高の見通し





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。